

春の劇場05 座・高円寺レパートリー

King Lear

人間の本质を浮き彫りにし、魂をゆさぶる……。
たった三人の俳優による座・高円寺のレパートリー『リア』。

リア

ファイナル公演

2015年
5月22日(金)→5月31日(日)

座・高円寺1

わしを知っとるものはおるか
わしはリアではない……
教えてくれ わしはなにものだ
リアの影法師

渡辺美佐子
植本潤
田中壮太郎

〔原作〕ウリアム・シェイクスピア
〔脚訳〕小田島雄志 (『リア王』より)
〔構成・演出〕佐藤信
〔演劇協力〕生田萬
〔美術〕鳥次郎
〔照明〕齋藤茂男
〔服装〕飯名尚人
〔音響〕島猛
〔衣裳〕岸井克己
〔メイク〕清水伸
〔かつら〕川口博史
〔造形小道具〕福田秋生
〔演出助手〕鈴木章友
〔舞台監督〕北村雅則

風よ吹け！
雨よ降れ！
火よ走れ！



企画・製作 NPO法人劇場創造ネットワーク 座・高円寺
平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
文化庁

後援 杉並区

でま



座 高円寺
ZA-KOENJI PUBLIC THEATRE

風の夜、荒野。リアが登場する。物語の中の王の衣裳、汚れほこび、すりきれ、いまはまるで乞食がまゝ、熊狸のようなあまりさま、野暮を纏んだ冠をかぶり、いもで縛った大きな布包をする、とひきすっている。
死体をどかに埋めよとかと彷徨って、どいているかのようだ……